

広報委員会
(第26期 第1回)
議 事 要 旨

1. 日 時 令和5年11月15日(水) 9:00~10:00
2. 場 所 オンライン開催
3. 出席者 池邊委員、磯委員、内田委員、狩野委員、高山委員、戸谷委員、永井委員、中村委員、美馬委員、隠岐委員、所委員、三成委員

4. 配布資料

- 資料1-1 広報委員会名簿
- 資料1-2 広報委員会運営要綱
- 資料2-1 広報委員会運営要綱の改正新旧(案)
- 資料2-2 「学術の動向」分科会設置提案書(案)
- 資料2-3 国内外情報発信分科会設置提案書(案)
- 資料3 日本学術会議第26期パンフレット構成(案)

5. 議 事

(1) 役員を選出について

- ・委員長の互選を行い、磯博康委員を選出した。
- ・磯委員長が副委員長として中村委員、幹事として狩野委員、永井委員を指名し承認された。

(2) 広報委員会の今後の運営について

- ・磯委員長より、第26期における広報委員会の検討事項及び2分科会(「学術の動向」編集分科会、国内外情報発信強化分科会)の設置が提案され了承された。(高山委員が「学術の動向」編集分科会、狩野委員が国内外情報発信強化分科会を担当)

○「学術の動向」編集分科会

- ・第25期と同様、日本学術協力財団と協力し、「学術の動向」の企画及び編集を行うために設置。
- ・11月幹事会に分科会の設置及び委員を提案することを決定。(委員は広報委員会より中村委員、狩野委員、高山委員、伊藤委員、辻委員、永井委員を充て、必要に応じ追加)

○国内外情報発信強化分科会

- ・日本学術会議の活動を集約し、国内・国外へ情報発信する内容について審議するために設置。
- ・11月幹事会に分科会の設置を提案。委員は、幹事会、科学と社会委員会、国際委員会とも相談の上、12月幹事会において提案することとした。

(3) 第 26 期パンフレットの作成について

- ・構成、内容等について、従来どおりに作成するのではなく、引き続き検討することとなった。

(4) 主な意見

○パンフレットについて

- ・広報の媒体として、ホームページ、動画、SNS、学術の動向があるが、前期にホームページや学術の動向を見直したので、パンフレットも今回見直して違うあり方があってもいいかもしれない。
- ・ビジュアル的に文字を少なくし、詳しくはホームページを見てもらうようにしたらどうか。内容もこの文字数、ページ数が必要かどうか、検討が必要ではないか。
- ・パンフレットは見てもらう対象を明確化し、その対象に相応しい内容とする必要があるのではないか。
- ・紙であれば機動的なもの、例えば学術会議のホームページの QR コードが付いているチラシのような、いろいろなところに配布できるものを作成するのはどうか。

○ホームページについて

- ・トップページに文字が多く、一般の方からはとりつきづらい。他の機関のホームページも参考に、構成や内容を検討する必要があるのではないか。
- ・学術会議として柔らかすぎると権威が崩れるということもあると思う。
- ・トップページで学術会議の会長や会員の顔が見えず、何をやっているかが分からない。トップページから中に入っていくのではないか。
- ・現在のデータばかり載っているが、学術会議の歴史や由来等の内容も必要ではないか。

○その他について

- ・YouTube への掲載について、シンポジウム等でも学術会議としてやっているものと個々の会員が個別にやっているものとあり、切り分けが難しい。
- ・セキュリティ、スタッフの数、予算の制限がある。

(5) その他

- ・委員間での連絡や意見交換等を行えるようにするため、メールアドレスを共有することについて了承。

以上